

令和6年度下半期 寄付・寄贈 企業版ふるさと納税寄付企業

令和6年10月から令和7年3月までにいただいた、寄付・寄贈品を公表します。
 ※掲載の承諾をいただいた方のみ(順不同、敬称略)



寄付者	金額・物品
城光断熱※1	8万円
真如苑茨城精舎	30万円
明治安田生命保険つくば支社	93万1800円
タイムプロデュース (ベルズイン・土浦)	100万円
千葉銀行	大型液晶ディスプレイ、 スポーツカウンター各1台
SYM	子ども用マスク2万枚
来田 雅彦	新米450kg
ねこが好き!主宰 白井 日出乃	動物愛護用品約10万円相当
田中铁工※2	2000万円
共栄製鋼※2	300万円
太平エンジニアリング※2	200万円
TESCO※2	100万円
アクセスファイブ※2	100万円

寄付者	金額・物品
土浦地区交通安全協会	交通安全冊子・交通安全 安全ポスター・児童傘・ 反射材各870個、横断 旗30本
みずほフィナンシャルグループ 損害保険ジャパン 明治安田生命保険 第一生命保険	交通安全 「黄色いワッペン」 1000個
水郷つくば農業協同組合	交通安全帽子855個
常陽銀行土浦支店	防犯ブザー930個
茨城県石油商業組合	クリアファイル1000枚
土浦南ロータリークラブ	コインロッカー2台
土浦ロータリークラブ	看板1基
土浦ライオンズクラブ	図書8冊
ノジマ	電化製品約122万円相当
銀職人MARO	絵画1枚

※1 筑波銀行の寄贈サービス付私募債を活用 ※2 企業版ふるさと納税寄付企業

健康教室



自分の薬を確認しよう

土浦市医師会
石切山 拓也 先生(松本内科医院)

「ポリファーマシー」という言葉を知っていますか？直訳すると「多くの薬」という意味です。複数の医療機関を受診し、多くの種類の薬を飲んでいく方もいるかもしれません。多くの薬を飲むことが決して悪いわけではないのですが、薬の種類が増えることによるデメリットが「ポリファーマシー」という言葉の基本的な考え方です。具体的には、次のようなデメリットがあります。

- 同じ系統の薬を使用することで、予期せず効果(副作用含む)が出過ぎてしまう
- 知らないうちに、飲み合わせの悪い薬と一緒に服用してしまう
- 何の薬かが分からなくなり、服薬を忘れがちになって服薬治療の効果が落ちてしまう
- お金がかかる
- 肝臓、腎臓などの臓器への負担が予測できない

おくすり手帳を活用していたとしても、薬の種類が増えるほど、リスクは上がってしまいます。

医療機関も理由なく患者さんに処方することはありませんが、一度処方された薬がそのまま長く使われていたり、おくすり手帳を忘れたために当人も含め誰も何の薬を飲んでいいのか分からなくなってしまったり、そういったことが重なって、気が付けば多くの薬を理由不明のまま飲んでいる状況が時々あります。

自分の薬の中に何の薬か分からないものがある方や、数多く飲んで大変だと思ったことがある方は、ぜひ医師や薬剤師にもう一度薬について確認してみてください。必ずしもお薬が減るとは限りませんが、ご自身の薬を整理する一つのきっかけになると思います。